

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: 逃れの]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数: 21 / 聖句等の総数 33250 (逃れの)21個]
K 民数記	35:6 あなたたちは、人を殺した者が逃れるための逃れの町を六つレビ人に与え、それに加えて四十二の町を与えなさい。
K 民数記	35:11 自分たちのために幾つかの町を選んで逃れの町とし、過って人を殺した者が逃げ込むことができるようにしなさい。
K 民数記	35:12 町は、復讐する者からの逃れのために、あなたたちに用いられるであろう。人を殺した者が共同体の前に立って裁きを受ける前に、殺されることのないためである。
K 民数記	35:13 あなたたちが定める町のうちに、六つの逃れの町がなければならない。
K 民数記	35:14 すなわち、ヨルダン川の東側に三つの町、カナンの土地に三つの町を定めて、逃れの町としなければならない。
K 民数記	35:15 これらの六つの町は、イスラエルの人々とそのもとにいる寄留者と滞在者のための逃れの町であって、過って人を殺した者はだれでもそこに逃れることができる。
K 民数記	35:25 すなわち、共同体は、人を殺してしまった者を血の復讐をする者の手から救い出し、共同体が、彼の逃げ込んだ逃れの町に彼を帰さなければならない。彼は聖なる油を注がれた大祭司が死ぬまで、そこにとどまらねばならない。
K 民数記	35:26 しかしもし、人を殺した者が、逃げ込んだ逃れの町の境の外に出た場合、
K 民数記	35:27 血の復讐をする者が逃れの町の境の外でこれと出会い、血の復讐をする者が、人を殺した者を殺したとしても、彼には血を流した罪はない。
K 民数記	35:28 なぜなら、人を殺した者は、大祭司が死ぬまで、逃れの町のうちにとどまらねばならないからである。大祭司が死んだ後はじめて、人を殺した者は自分の所有地に帰ることができる。
K 民数記	35:32 あなたたちは、祭司が死ぬまでは、逃れの町に逃げ込んだ者から贖い金を受け取って国に帰らせて、生活させてはならない。
K ヨシュア記	20:2 イスラエルの人々に告げなさい。モーセを通して告げておいた逃れの町を定め、
K ヨシュア記	20:3 意図してでなく、過って人を殺した者がそこに逃げ込めるようにしなさい。そこは、血の復讐をする者からの逃れの場所になる。
K ヨシュア記	21:13 祭司アロンの子孫に与えられたのは、殺害者の逃れの町であるヘブロンとその放牧地のほか、リブナ、
K ヨシュア記	21:21 与えられたのは、エフライムの山地にある殺害者の逃れの町シケムのほか、ゲゼル、
K ヨシュア記	21:27 レビ人の一氏族であるゲルシヨンの子孫に与えられたのは、マナセの半部族からは、殺害者の逃れの町であるバシャンのゴラン、ベエシュテラとそれぞれの放牧地など二つの町、
K ヨシュア記	21:32 ナフタリ族からは、殺害者の逃れの町であるガリラヤのケデシュ、ハモト・ドル、カルタンとそれぞれの放牧地など三つの町である。
K ヨシュア記	21:36 ルベン族からは、殺害者の逃れの町ベツェルのほかヤハツ、
K ヨシュア記	21:38 ガド族からは、殺害者の逃れの町ギレアドのラモト、マハナイム、
K 歴代誌上	6:42 またアロンの子孫には、逃れの町ヘブロン、リブナとその放牧地、ヤティル、エシュテモアとその放牧地、
K 歴代誌上	6:52 彼らに与えられたのはエフライム山地にある逃れの町シケムとその放牧地、ゲゼルとその放牧地、